

# レジリエンス点検を踏まえた地震対策の 提言事項等への対応状況について

2021年3月10日  
経済産業省 産業保安グループ  
ガス安全室

# 「レジリエンス点検」を踏まえた対策提言事項への対応状況

	内容	対応状況
設備	<b>①製造・供給設備の継続的な耐震対策</b> ・ 低圧ガス導管の耐震化率向上に向けた取組を継続	▶ <u>2019年耐震化率実績 (90.3%)</u> ▶ 2025年目標90%を前倒しで達成
	<b>②新たな緊急停止判断基準の適用</b> ・ 2つの地震の実績を踏まえ、新たな緊急停止判断基準の有効性を確認し適用	▶ 2018年12月より順次適用開始 ▶ <u>59事業者</u> で保安規程改訂済 ▶ 保安規程改訂済み事業者の需要家数は、全国の需要家の約90%に相当
緊急	<b>③供給停止ブロックの細分化</b> ・ 供給停止範囲の極小化と供給安定性を両立した細分化を検討	▶ 引き続き、事業者毎に供給安定性を考慮しながら継続的に細分化を検討し、適宜実施
復旧	<b>④合理的な復旧手法の導入</b> ・ マイコンメーターの保安機能を活用し、被害状況等に応じた「合理的な復旧手法」を検討	▶ 被害軽微地区でのマイコンメーターを活用した「開閉栓作業の合理化」した手法を検討済み ▶ 運用に向けた業界大のマニュアルを <u>整備済み</u>
	<b>⑤事業者間の連携</b> ・ より迅速・円滑な応援体制の立ち上げに資する取り組みを検討	▶ 迅速な応援体制の立ち上げに必要な事前準備事項を整理した業界大のマニュアルを <u>整備済み</u> ▶ <u>2020年6月～11月に、全国9会場にて全事業者が参加し、応援受入演習を実施</u> ▶ 今後も業界大で応援受入演習を定期的実施し、定着を図る
	<b>⑥災害時の情報発信</b> ・ 大阪北部地震の好事例を横展開、SNS積極活用検討 ・ 的確な復旧完了見込みの算出に向け技術検討を深堀り	▶ 過去地震の実績を踏まえた想定被害率曲線から復旧見通しを算定することにより、迅速に情報発信 ▶ 「JGA復旧進捗見える化システム」をリリース済 ▶ システムを活用し、業界大でSNS等を用いた情報発信訓練を実施